



3月のほけんだより

3月号（発行）
社会福祉法人小松市大和善隣館
幼保連携型認定こども園
蓮代寺こども園

4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子どもたち。最後のひと月を大切に過ごしましょう。

耳を大切にしよう！



3月3日は耳の日です。ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳炎の原因になることもあります。日ごろから気をつけるようにしましょう。

耳をつめで引っかいたり、強く引っばったりしないでおね！



耳あかがたまっていないか、チェック！



鼻をかむときは、片方ずつ静かにかみましょう！



両方一緒にかむと、鼻と耳をつなぐ耳管から、細菌やウイルスが耳に入ってしまうです。

耳のそばで、大きな音や声を出さないでね！



ことばと聴力

0～4歳は、ことばを覚える重要な時期です。このとき両耳が聞こえない状態だと、ことばの習得が難しくなります。

難聴は生まれつきのことが多いのですが、中耳炎など耳の炎症から難聴になることもあります。子どもの耳の健康について、日ごろから気をつけていくようにしましょう。

子どもの「聞こえ」チェック

「聞こえている？」と心配になったら、確認してみましょう。

- ☐ 大きな音に驚くか
- ☐ おもちゃの音に振り向くか
- ☐ 周囲の呼びかけに振り向くか
- ☐ 音楽に合わせて手をたたいたり、踊ったりするか
- ☐ 声のみの指示に従うか
- ☐ 発達にそって、習得することばは増えているか
- ☐ ことばのまねっこをするか



耳そうじの時、気を付ける事



耳そうじを行う頻度は、月1～2回が目安です。

- ほとんどの耳あかは、耳の穴の入り口から1cmほどの所にたまります。綿棒などを使って無理せず、見える範囲のものだけをに取るようにしましょう。
- 奥までいじりすぎたり強くそうじしたりすると、逆に耳あかを押し込んでしまったり、耳の穴を傷つけることがあるので注意しましょう。
- 耳そうじをしている時に、人とぶつかったりして鼓膜を破る事故が多いので注意しましょう。
- 小さいお子さんがいる家庭では、耳かき棒などは子どもの手の届かない所に置きましょう。
- 耳あかがたまりすぎると聞こえが悪くなったり、湿疹を誘発することがあります。また、耳あかが固まってしまうこともあります。このような場合は無理せずに耳鼻科で取ってもらいましょう。



心も体も元気に新年度を迎えましょう！

進級・就学を控え、子どもたちは「1つ大きくなる」という喜びでいっぱいですが、中には気持ちが不安定になり、身体症状や行動に表れてくるお子さまもいます。心も体も元気に新年度を迎えることができるよう生活リズムを整え、お子さまとゆっくり過ごす時間を持ちましょう。

